

サンフレッチェ広島の試合観戦と応援

中国遊技機商業協同組合(山本基庚理事長)福利厚生委員会では、今年度も組合員及びその社員・家族の親睦等を図るため、令和4年10月29日(土)、エディオンスタジアムで開催されたJ1リーグ「サンフレッチェ広島対北海道コンサドーレ札幌」戦を観戦し、参加した21社55名がコロナ感染対策に配慮しながら地元最終戦に熱い思いで応援しました。(添付写真参照)

当日は秋空とは言え日差しが強いなか試合が開始され、後半は日も落ち肌寒くなるなか、クラブ創立30周年ということや、鳴り物、声出し声援も可能となり、今季最多の18,106人の入場者をして観戦もこれまで以上に盛り上がりました。

試合は前半、コンサドーレ札幌に先制点を許しながらも札幌の守備を左右に揺さぶって同点に追いつきましたが、残念ながら後半に勝ち越し点を許し1対2で試合は負けました。

試合終了後、ホーム最終戦という事もありセレモニーが開催され、サンフレッチェスキップ監督と選手、スタッフがピッチに整列し、初制覇したルヴァン杯の優勝カップを披露、監督やDF佐々木選手の感謝の挨拶等終えた後、選手等は今シーズンの応援に感謝の意を示しサポーターに手を振りながらグラウンドを一周しました。

観戦した組合員等も来季の優勝と今後更なる躍進を期待し会場を後にしました。

